

歌志内市公立病院改革プランの実施状況に関する
点検・評価報告書（平成 21 年度分）

平成 23 年 1 月

歌志内市行財政改革検討委員会

I はじめに

「歌志内市公立病院改革プラン」(歌志内市立病院経営健全化計画に包含。)は、平成19年12月に総務省において策定された「公立病院改革ガイドライン」や医療環境の変化を踏まえながら、当病院が地域の中で果たすべき役割、目指すべき医療を明らかにした上で、病院経営の改革を総合的に押し進めるため、平成21年3月に策定され、その取り組み状況についての点検・評価を平成21年度決算から行うことになっている。

本委員会では、「公立病院改革ガイドライン」で示された「経営の効率化」、「再編・ネットワーク化」、「経営形態の見直し」の3つの視点についての点検・評価を行ったので、ここに報告する。

II 点検・評価結果

1 経営の効率化について

平成21年度は、普通交付税と特別交付税の1ベッド当たりの病床単価が大幅な増となったことに伴い、一般会計繰入金が増額で収入増となり収支状況に大きく反映された。

また、患者動向による収入状況では、外来収益にあっては患者数が増となったが、診療単価の減により収入減となった。一方、入院収益にあっては、患者数の減少の反面、診療報酬に反映される医療必要度の高い患者数の増により、計画を大きく上回るようになった。

この結果、計画においては5,244万9千円の純損失となる見込みだったが676万9千円の当期純利益を計上することになった。

今後においても、診療報酬体系を踏まえた効率的な病院運営を推進し、経営の健全化に努めること。

なお、数値目標に対する評価については、客観的に行うため、次の評価区分を設けた。

| 区 分 | 評 価 の 内 容 |
|----------|----------------------------|
| A (適正) | 公立病院改革プランと比較し、100%以上の実績 |
| B (概ね適正) | 公立病院改革プランと比較し、95~100%未満の実績 |
| C (やや不適) | 公立病院改革プランと比較し、50~95%未満の実績 |
| D (不適) | 公立病院改革プランと比較し、50%未満の実績 |

① 経常収支比率 (経常収益/経常費用)

計画では、90.8%で見込んでいたが、101.2%の実績のため、達成率100%以上となり、評価は「A」となった。

| 区 分 | 19年度 実績 | 20年度 実績 | 21年度 | | |
|----------------|------------|------------|---------|---------|---------|
| | | | 計画値 | 実 績 | 達成率 (%) |
| 経常収益 (千円) | 534,814 | 532,250 | 515,255 | 560,843 | — |
| 経常費用 (千円) | 528,973 | 517,195 | 567,704 | 554,074 | — |
| 経常損益 (千円) | 5,841 | 15,055 | ▲52,449 | 6,769 | — |
| 経常収支 比率 (%) | 101.1 | 102.9 | 90.8 | 101.2 | 111.5 |

※20年度実績の経常収益には、減債積立金取り崩し相当分の13,727千円が含まれている。

② 職員給与費対医業収益比率（職員給与費/医業収益）

計画では、医師3名が市職員（計画策定時は、医師2名が市職員、非常勤嘱託医師1名が在籍）で見込んでおり、62.1%で計上していたが、給与抑制措置5%復元となるも、医師2名が嘱託医師となったことなどにより、49.7%の実績のため、達成率100%以上となり、評価は「A」となった。

| 区 分 | 19年度 実績 | 20年度 実績 | 21年度 | | |
|--------------------------|------------|------------|---------|---------|---------|
| | | | 計画値 | 実 績 | 達成率 (%) |
| 医業収益 (千円) | 427,951 | 412,707 | 405,504 | 421,398 | — |
| 職員給与費 (千円) | 220,606 | 213,790 | 251,924 | 209,535 | — |
| 職員給与費 対医業収益 比率 (%) | 51.5 | 51.8 | 62.1 | 49.7 | 124.9 |

※職員給与費は、「地方公営企業決算状況調査」の算出方法と同様に児童手当、賃金、報酬、退職手当組合負担金を除く。

③ 病床利用率（年延入院患者数/年延稼働病床数）

計画では、許可病床数60床のところ1日平均58.4人により、97.3%で見込んでいたが、94.5%（1日平均56.7人）の実績のため、達成率97.1%となり、評価は「B」となった。

今後においても高い病床利用率を維持しながら、収入の確保に努めていく必要があるが、医療必要度の高い入院患者が増加することにより、医師や看護師の負担が過重になりすぎないように、入院患者の受け入れに当たってはこれまでどおり十分配慮すること。

| 区 分 | 19年度 実績 | 20年度 実績 | 21年度 | | |
|-------------|------------|------------|--------|--------|---------|
| | | | 計画値 | 実 績 | 達成率 (%) |
| 年延入院患者数 (人) | 21,310 | 21,437 | 21,317 | 20,699 | — |
| 年延稼働病床数 (床) | 21,960 | 21,900 | 21,900 | 21,900 | — |
| 病床利用率 (%) | 97.0 | 97.9 | 97.3 | 94.5 | 97.1 |

2 再編・ネットワーク化について

中空知圏域における再編・ネットワーク化については、平成20年1月に北海道が策定した「自治体病院等広域化・連携構想」に基づき、平成21年9月に当圏域内の各自治体病院の事務長を委員とする「中空知保健医療福祉圏域連携推進会議」の専門部会において、「中空知圏域における自治体病院の今後の方向性について（改訂版）」が策定された。

この中で、各自治体病院はそれぞれの市町の基幹病院としての役割を担うとともに、相互に連携を図りながら各々の特性に応じた役割を果たしていくよう求められている。

当病院においては、これまで市内の基幹病院として市民の初期医療を担うとともに、慢性期疾患の患者に対応する診療体制としており、他医療機関や福祉施設等の連携を図っていることは評価するところである。

なお、急性期治療から慢性期治療への提供がますます重要となってきたことから、引き続き砂川市立病院や滝川市立病院及び介護施設等との連携を図り、中空知圏域内の慢性期医療を担っていくことを期待する。

3 経営形態の見直しについて

当病院は、過疎地・不採算地域という状況の中、これまで一般病床形態から段階的に病床数等の縮小見直しを図りながら、地域になくってはならない初期医療と慢性期疾患の患者に対応する診療体制で運営している。

今後においても自治体病院の使命として、地域住民が安心して医療を受けられる環境を持続することが重要であるため、将来における経営形態の見直しについては、地域医療を取り巻く経営環境の変化などに応じ、あらゆる選択肢を含めた経営形態への移行を検討していくことが必要である。

<参考資料>

○診療科・病棟体制等の変遷

| 区 分 | 13 年度 | 14 年度 | 15 年度 | 16 年度 | 17 年度以降 |
|---------|-------------------------------|--------------------------|---------------------------|-------------------|---------------|
| 診 療 科 | 内科 小児科 外科 | 内科 小児科 外科（週 2 日診療） | | 内科 小児科 | |
| 許可病床数 | 病床 90 床 一般 54 床 療養 36 床 | | 病床 75 床 （全床療養） | 60 床 （全床療養） | |
| 特 記 事 項 | 整形外科廃止 | 医事係廃止し民間委託 | ・救急告示廃止 ・リトゲン技師が医療相談兼務 | ・外科廃止 ・院外処方箋発行 | 臨床検査技師が経理事務兼務 |

○普通交付税と特別交付税の 1 ベッド当たり病床単価の推移

| 区 分 | | 19 年度 実績 | 20 年度 実績 | 21 年度 | | |
|---------------|-----|-------------|-------------|--------|--------|--------|
| | | | | 計画値 A | 実 績 B | 差引 B-A |
| 普通交付税 （千円） | 単 価 | 495 | 482 | 482 | 594 | 112 |
| | 交付額 | 44,550 | 43,380 | 43,380 | 53,460 | 10,080 |
| 特別交付税 （千円） | 単 価 | 680 | 680 | 680 | 820 | 140 |
| | 交付額 | 40,800 | 40,800 | 40,800 | 49,200 | 8,400 |

※普通交付税における算定病床数は、病床削減の経過措置により 21 年度まで特例分の 30 床が算定され、90 床分が交付されている。

○外来・入院における患者数・診療単価・収益の推移

| 区 分 | | 19 年度 実績 | 20 年度 実績 | 21 年度 | | |
|-----|---------|-------------|-------------|---------|---------|--------|
| | | | | 計画値 A | 実 績 B | 差引 B-A |
| 外 来 | 患者数（人） | 19,097 | 17,374 | 16,958 | 17,295 | 337 |
| | 診療単価（円） | 4,256 | 4,213 | 4,230 | 3,984 | ▲246 |
| | 収益（千円） | 81,280 | 73,201 | 71,737 | 68,895 | ▲2,842 |
| 入 院 | 患者数（人） | 21,310 | 21,437 | 21,317 | 20,699 | ▲618 |
| | 診療単価（円） | 14,842 | 14,566 | 14,250 | 15,553 | 1,303 |
| | 収益（千円） | 316,290 | 312,249 | 303,767 | 321,921 | 18,154 |

○空知管内における公立病院病床利用率調べ（20年度実績）

| | | 病 床 数 | | | | | | 病床利用率 (%) |
|-------------|----------------|-------|-----------|-----|-----|-----|-----------|------------------------|
| | | 一 般 | 療 養 | 結 核 | 精 神 | 感染症 | 計 | |
| 北 空 知 | 深川市立総合病院 | 266 | | | | 4 | 270 | 79.4 |
| | 幌加内町国保病院 | 8 | 42 | | | | 50 | 60.7 |
| 中 空 知 | 砂川市立病院 | 408 | | 6 | 103 | 4 | 521 | 73.4 |
| | 滝川市立病院 | 300 | | | 50 | | 350 | 76.0 |
| | 市立赤平総合病院 | 120 | 60 | | | | 180 | 69.7 |
| | 市立芦別病院 | 160 | 29 | | | | 189 | 68.1 |
| | 歌志内市立病院 | | 60 | | | | 60 | 97.9 (94.5) |
| | 奈井江町立国保病院 | 46 | 50 | | | | 96 | 72.8 |
| 南 空 知 | 岩見沢市立総合病院 | 365 | | | 115 | 4 | 484 | 94.0 |
| | 岩見沢市立栗沢病院 | | 85 | | | | 85 | 84.0 |
| | 市立三笠総合病院 | 134 | | | 65 | | 199 | 80.2 |
| | 市立美唄病院 | 98 | 45 | | | | 143 | 45.7 |
| | 国保月形町立病院 | 40 | | | | | 40 | 91.1 |
| | 町立長沼病院 | 110 | 45 | | 44 | | 199 | 63.3 |
| | 国保南幌町立病院 | 26 | 54 | | | | 80 | 55.4 |
| | 由仁町立病院 | 12 | 51 | | | | 63 | 70.3 |

※「平成20年度地方公営企業決算状況調（平成22年3月発行）」より抜粋。

なお、歌志内市立病院の病床利用率の下段（ ）は、21年度の病床利用率実績を掲載。